

(別紙 12)

大学「地（知）の拠点整備事業」ホームページ掲載用原稿記入フォーム

※以下の項目を参考の上で作成をしてください（様式は自由です）。

実習企業・機関	社会福祉法人敬友会 おいたまの郷
実習期間	平成 30 年 9 月 10 日 ～ 平成 30 年 9 月 14 日
学生氏名	富永 真央
実習プログラム	<p>【1日目】 施設見学 同行訪問（有料老人ホーム）</p> <p>【2日目】 同行訪問（総合相談/介護予防支援）</p> <p>【3日目】 地域の高齢者の生活や介護予防の講義 山形県地域生活定着支援センターネットワーク会議への参加</p> <p>【4日目】 地域包括支援センターの社会福祉士の業務について 介護保険について 同行訪問（総合相談）</p> <p>【5日目】 同行訪問（介護予防支援）、いきいき 100 歳体操への参加 ふりかえり、まとめ</p>
学び・気づき (300 字程度)	<p>実習を通して、社会福祉士の利用者とのかかわり方を学ぶことができた。実習中、社会福祉士はチーム力や人とつながるためのコミュニケーション能力が大切だと教えていただいたが、実際に現場に出てみると、社会福祉士だけでは対応しきれない問題もたくさんあるのだと感じた。ケアマネジャーの方や、介護支援の専門員、保健師の方など、様々な職種との連携を通して利用者は支えられているのだと改めて知ることができた。円滑な連携のために、利用者だけでなく、様々な専門職の方とも定期的にコミュニケーションを取り、信頼関係づくりをすることも重要なのだということを知った。また、国際化に伴って、グローバルに対応するための国際的なスキルも必要になってくることを知った。</p>
今後に向けた 抱負 (200 字程度)	<p>私は、社会福祉士を目指していて、実際に現場に出て社会福祉士について知りたいたいと思い、今回インターンシップを受けさせていただいた。今回の実習で、改めて社会福祉士に必要な、柔軟な対応力とコミュニケーションスキルを磨かなければいけないと実感した。初対面の人と円滑にコミュニケーションを取ることは難しく、私自身、初めての体験ばかりで緊張してしまうことも多々あった。しかし、将来専門職として働くときは、利用者としつかりコミュニケーションを取ら</p>

	<p>ないといけないので、どんなことにも柔軟に対応することと、誰に対してもコミュニケーションが取れるように、大学生活やアルバイトなどを通してこれからもっとスキルを磨いていきたいと思った。</p>
<p>インターンシップをして気づいた、実習先の魅力 (300字)</p>	<p>今までずっと大学の講義だけを受けてきていたので、初めての現場、初めて近くで仕事を見させていただいて、すごく緊張していたのだが、施設の方はどの方も優しく接してくださり、利用者の方も、私の同行訪問に対し快く受け入れてくださった。忙しい中、私のために専門的な知識まで教えていただいたり、現場でのやりがいや苦勞なども教えていただいた。そして、従業員の方はみんな仲が良く、あたたかい雰囲気だった。働く中で、信頼関係がしっかり整っているのだと感じた。そのような環境で実習ができて、今まで知らなかった新しい発見をたくさん見つけることができた。</p>
<p>写真 (1~3点)</p>	